

みんなであつろう！地域を支える公共交通

☎まちづくり推進課 ☎463-1514

公共交通の必要性

毎日の通勤や通学、買い物や通院のため、電車やバスなどの公共交通を日常的に利用している方は多いと思います。

特に、子どもや高齢者、運転免許証を自主返納した方など、車を運転しない人たちにとって**公共交通は生活の一部**であり、私たちが普段どおりの生活を送るためには、公共交通はなくてはならないものです。

今後、高齢化がさらに進むことで、公共交通の必要性はどんどん増していき、将来にわたりサービスを維持していくことが求められています。

公共交通の現状

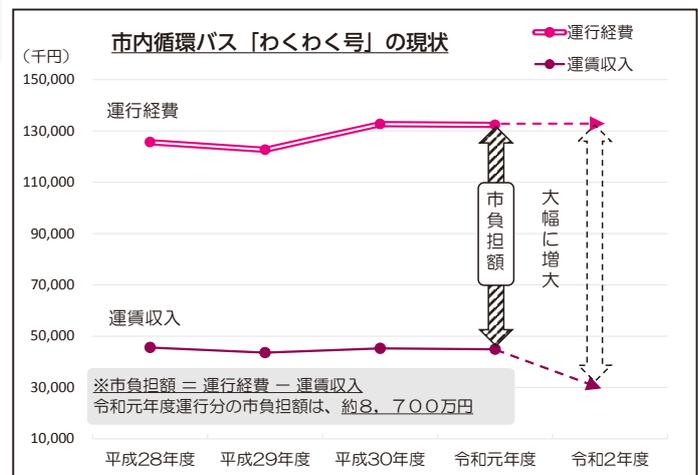
新型コロナウイルスの感染拡大により、外出自粛をはじめ、テレワークの推進やオンライン授業など、私たちの生活環境は大きく変わりました。それに伴い、**公共交通機関の利用者は大幅に減少**し、とりわけバス、タクシー利用においては顕著な影響が出ており、今後の回復も難しい状況にあります。

そうした中でも、交通事業者は感染対策を徹底しながら、終電や終バスの時刻を早めたり、あるいは減便するなどして、公共交通サービスの維持に努めており、利用者の回復に向けて、日々変わらぬサービスを提供してくれています。

市内循環バスの利用状況と採算性

市では、路線バスを補完する、市内循環バス「わくわく号」を運行し、朝霞駅や北朝霞駅をはじめ、市役所や図書館、公民館などの公共施設等を経由し、市内における移動の利便性向上に努めています。

しかしながら、わくわく号は右図のとおり、**採算性が厳しく**、さらに、新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者が大きく減少しており、市の負担額も大幅に増大することが予想されます。



公共交通を使うことが一番の支援

公共交通を将来にわたり守っていくためには、**利用者が増えることが一番**であり、**私たちが公共交通を利用することが大きな支え**となります。

そのために、普段、電車やバスを使わないという方も、将来的に公共交通を必要とする時が来ることを見据え、**目的地によって移動手段を使い分ける**など、公共交通を積極的に利用することで、地域の生活を支える公共交通をみんなで守り、未来につなげていきましょう。



鉄道駅やバス停留所付近まではシェアサイクルも Good

駅やバス停付近とご自宅の往来には、ぜひシェアサイクルの活用もご検討ください。天気の良い日には自転車で走って、気分転換や健康増進にもなります。